

マイ本棚を作ってみよう

いつも利用している図書館や書店のディスプレイを参考に、自分の本棚を作ってみましょう。カラーボックス一段分でも、ブックエンドで数冊の本を並べるだけでも、立派な本棚です。

自分だけの本棚にどんな本を並べていこうか、考えるだけでもわくわくしませんか？ 中学校三年間でどんな読書家になりたいかを思い描きながら、理想の本棚を作ってみましょう。

本棚は一度作って終わりではなく、新たな本を追加したり、取り除いたりして、変え続けていきましょう。

- 自分が持っている本を集めて、どのように本棚に並べたら使いやすいかを考えよう。
- 今まで読んできた本の中から、お薦めの本を並べてみよう。
- テーマを決めて、関連した本を集めて並べてみよう。
- 読みかけの本、これから読みたいと思っている本を並べてみよう。



「一箱本棚」を作ってみよう

ここでは、段ボール箱（みかん箱ぐらいの大きさ）を用意し、その中に本を並べて見せる「一箱本棚」を紹介します。一箱本棚とは、参加者が自分の売りたい古本を一つの箱の中に並べて販売する「一箱古本市」という取り組みを参考にしたものです。



一箱古本市：帝京大学 共読サポーターズ作成
帝京大学〈共読ライブラリー（*）〉が学園祭で実施している古本市。共読サポーターズの学生が一人一箱の店主となり、選書した本にコメントカードをつけて販売している。
* <https://appsv.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/tos-kyodoku.html>

▼ポイント

- ★箱のキャッチフレーズを考える。
- ★箱のディスプレイを考え、目を引く工夫をする。
- ★本の並べ方を工夫する。縦置きにするだけでなく、表紙を見せる、横に積み重ねるなどの工夫をしてもよいでしょう。